

表3 ばいじん等

| 採取年月日 及び時刻 | 試料種別 | 採取箇所 | 特定施設の 名称及び 使用状況 | 分析年月日 | 測定結果 (ng-TEQ /g) | 試料 採取者 | 分析者 | 備考 |
|------------------|------|----------------------|----------------------------------|----------|------------------------|-------------|-------------|-------------|
| 令 2.6.1 11:00 | ばいじん | バグフィル ター 集じん置場 | 廃棄物焼却炉 No1 一般塵芥 300kg/h 焼却 | 令 2.6.25 | 1. 2 | (株) 佐藤検査 | (株) 佐藤検査 | 別紙 整理番号4 |
| 令 2.6.1 11:00 | 焼却灰 | 焼却灰置場 | 廃棄物焼却炉 No1 一般塵芥 300kg/h 焼却 | 令 2.6.25 | 0. 8 | (株) 佐藤検査 | (株) 佐藤検査 | 別紙 整理番号5 |
| | | | | | | | | |

備考1 報告書及び別紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 ダイオキシン類対策特別措置法施行規則（以下「規則」という。）第3条第1項に基づき換算した測定結果については、別紙1を添付するものとする。

3 規則第3条第2項に基づき換算した測定結果については、別紙2を添付するものとする。

4 2以上の測定結果がある場合は、添付する別紙1又は2のそれぞれとの対応関係がわかるように備考欄に記入すること。

5 排出ガスにあっては表1、排出水にあっては表2、ばいじん及び焼却灰その他の燃え殻（以下「ばいじん等」という。）にあっては表3に記載すること。なお、同一届出者が大気基準適用施設及び水質基準対象施設をともに設置している場合には、併せて1葉の様式に記載すること。

6 排出ガス量については、温度が零度であって圧力が1気圧の状態（以下「標準状態」という。）における量に、測定結果については、標準状態における排出ガス1立方メートル中の量に、それぞれ換算したものとする。

7 2以上の水質基準対象施設を設置し、異なる排水系統を有する水質基準適用事業場にあつては、それぞれの排水系統の排水口ごとに測定を行い、結果を記載すること。

8 表3の試料の種別として、ばいじん、焼却灰、混合灰又はこれらの処理物（処理方法）の別を記載すること。

測定したダイオキシン類の構成

| 整理番号 | 3 | 実測濃度 | 試料における 定量下限 | 試料における 検出下限 | 毒性等 価係数 | 毒性等量 |
|-----------------------------|---------------------------|-------|----------------|----------------|------------|--------------|
| ポリ塩化ジベンゾフラン | 2,3,7,8-TeCDF | 0.6 | 0.5 | 0.2 | 0.1 | 0.06 |
| | 1,2,3,7,8-PeCDF | 1.0 | 0.5 | 0.2 | 0.03 | 0.03 |
| | 2,3,4,7,8-PeCDF | 0.6 | 0.5 | 0.2 | 0.3 | 0.18 |
| | 1,2,3,4,7,8-HxCDF | 1.0 | 1 | 0.3 | 0.1 | 0.1 |
| | 1,2,3,6,7,8-HxCDF | 1.0 | 1 | 0.3 | 0.1 | 0.1 |
| | 1,2,3,7,8,9-HxCDF | N. D. | 1 | 0.3 | 0.1 | 0 |
| | 2,3,4,6,7,8-HxCDF | 1.5 | 1 | 0.3 | 0.1 | 0.15 |
| | 1,2,3,4,6,7,8-HpCDF | 5.2 | 1 | 0.3 | 0.01 | 0.052 |
| | 1,2,3,4,7,8,9-HpCDF | N. D. | 1 | 0.3 | 0.01 | 0 |
| | OCDF | N. D. | 2.5 | 0.8 | 0.0003 | 0 |
| Total PCDFs | — | — | — | — | — | 0.672 |
| ポリ塩化ジベンゾシン | 2,3,7,8-TeCDD | N. D. | 0.5 | 0.2 | 1 | 0 |
| | 1,2,3,7,8-PeCDD | (0.3) | 0.5 | 0.2 | 1 | 0 |
| | 1,2,3,4,7,8-HxCDD | N. D. | 1 | 0.3 | 0.1 | 0 |
| | 1,2,3,6,7,8-HxCDD | N. D. | 1 | 0.3 | 0.1 | 0 |
| | 1,2,3,7,8,9-HxCDD | N. D. | 1 | 0.3 | 0.1 | 0 |
| | 1,2,3,4,6,7,8-HpCDD | 1.0 | 1 | 0.3 | 0.01 | 0.01 |
| | OCDD | N. D. | 2.5 | 0.8 | 0.0003 | 0 |
| | Total PCDDs | — | — | — | — | — |
| Total(PCDFs+PCDDs) | — | — | — | — | — | 0.655 |
| ポリ塩化ビフェニル | 3,4,4',5'-TeCB(#81) | 1 | 0.2 | 0.1 | 0.0003 | 0.0003 |
| | 3,3',4,4'-TeCB(#77) | 3 | 0.2 | 0.1 | 0.0001 | 0.0003 |
| | 3,3',4,4',5'-PeCB(#126) | 2.0 | 0.2 | 0.1 | 0.1 | 0.2 |
| | 3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169) | 0.5 | 0.2 | 0.1 | 0.03 | 0.015 |
| | 2',3,4,4',5'-PeCB(#123) | 1.0 | 0.2 | 0.1 | 0.00003 | 0.0003 |
| | 2,3',4,4',5'-PeCB(#118) | 1.0 | 0.2 | 0.1 | 0.00003 | 0.0003 |
| | 2,3,3',4,4'-PeCB(#105) | 1.0 | 0.2 | 0.1 | 0.00003 | 0.0003 |
| | 2,3,4,4',5'-PeCB(#114) | 1.0 | 0.2 | 0.1 | 0.00003 | 0.0003 |
| | 2,3',4,4',5,5'-HxCB(#167) | 1.0 | 0.2 | 0.1 | 0.00003 | 0.0003 |
| | 2,3,3',4,4',5'-HxCB(#156) | 1.0 | 0.2 | 0.1 | 0.00003 | 0.0003 |
| 2,3,3',4,4',5'-HxCB(#157) | 1.0 | 0.2 | 0.1 | 0.00003 | 0.0003 | |
| 2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189) | 1.0 | 0.2 | 0.1 | 0.00003 | 0.0003 | |
| Total コプラナーPCB | — | — | — | — | — | 0.218 |
| Total ダイオキシン類 | — | — | — | — | — | 0.9 pg-TEQ/l |

備考 1 大気の測定結果を記入する場合には、単位を ng/m^3 (毒性等量にあつては、 $\text{ng-TEQ}/\text{m}^3$)、水質の測定結果を記入する場合には、単位を pg/l (毒性等量にあつては、 $\text{pg-TEQ}/\text{l}$)、ばいじん等の測定結果を記入する場合には単位を ng/g (毒性等量にあつては、 $\text{ng-TEQ}/\text{g}$) とする。

2 実測濃度の項において、検出下限以上定量下限未満の濃度は括弧付きの数字で記載すること。

3 実測濃度の項において、検出下限未満のものは”ND”と記載すること。

4 毒性等量は、定量下限未満の実測濃度を零として算出すること。

5 用語の定義は、日本産業規格K0311又はK0312によること。

6 整理番号は、測定結果が複数の場合に記入すること。

記載上の注意事項（様式第6）

- ① 測定結果は、試料採取日から起算して60日以内に報告すること。
- ② 測定結果については、施行規則第3条に基づき、別紙を用いて毒性等量を算出し、その結果を記載するとともに、別紙を添付すること。
- ③ 2以上の測定結果がある場合は、添付する別紙のそれぞれとの対応関係がわかるように備考欄に記載すること。
- ④ 大気基準適用施設にあつては表1、水質基準適用事業場にあつては表2、ばいじん等にあつては表3に記載すること。
なお、同一届出者が大気基準適用施設及び水質基準対象施設をともに設置している場合には、併せて1葉の様式に記載すること。
- ⑤ 「排出ガス量」については、温度が零度であつて圧力が1気圧の状態（以下「標準状態」という。）における量に、「測定結果」については、標準状態における排出ガス1立方メートル中の量に、それぞれ換算したものとすること。
- ⑥ 2以上の水質基準対象施設を設置し、異なる排水系統を有する水質基準適用事業場にあつては、それぞれの排水系統の排水口ごとに測定を行い、結果を記載すること。
- ⑦ 表3のばいじん等の試料種別は、ばいじん、焼却灰、混合灰、又はこれらの処理物（処理方法）の別を記載すること。
- ⑧ 表3のばいじん等の使用状況は、ばいじん等の排出時における焼却対象物の種類、焼却量等を記載すること。

記載上の注意事項（様式第6の別紙）

- ① 大気の測定結果を記入する場合にあつては、単位を ng/m^3 （毒性等量にあつては、 $\text{ng-TEQ}/\text{m}^3$ ）、水質の測定結果を記入する場合にあつては、単位を pg/l （毒性等量にあつては、 $\text{pg-TEQ}/\text{l}$ ）、ばいじん等の測定結果を記入する場合にあつては、単位を ng/g （毒性等量にあつては、 $\text{ng-TEQ}/\text{g}$ ）とすること。
また、「Total ダイオキシン類」の「毒性等量」を記入する場合には、単位を明示すること。
- ② 「実測濃度」の項において、検出下限以上定量下限未満の濃度は括弧付きの数字で記載すること。
- ③ 「実測濃度」の項において、検出下限未満のものは”ND”と記載すること。
- ④ 「毒性等量」は、定量下限未満の実測濃度を零として算出すること。
- ⑤ 「整理番号」は、測定結果が複数の場合に記入